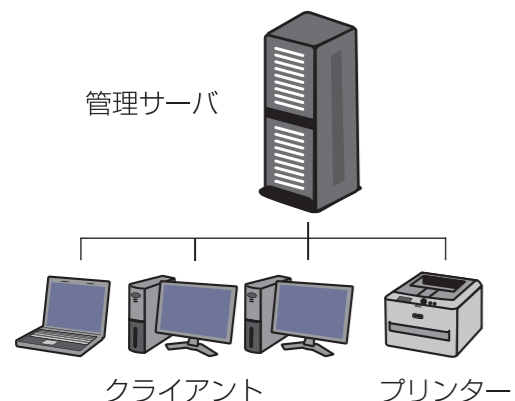


### ■ セキュリティ

- ID、パスワードによりログイン。
- ユーザの権限を、更新・削除可／更新可／閲覧のみ／使用不可の4種類に設定可能。
- 操作履歴を管理できます。



### ■ システム構成例



### ■ 動作環境

サーバー環境	
OS	Redhat Linux ES 3.0/4.0/5.0 Microsoft Windows 2000/2003/2008 Server
CPU	1.0GHz以上(2.8GHz以上を推奨)
メモリ	1GB以上(2GB以上を推奨)
HDD	必須空き容量 500MB以上 ※データベースソフトや画像ファイル数により異なります。
DBMS	PostgreSQL8、Oracle9i/10g

クライアント環境	
OS	Microsoft Windows XP/Vista/7 MacOSX ※ネットワークの構成によりエディションに指定があります。
CPU	1.0GHz以上(2.0GHz以上を推奨)
メモリ	1GB以上(2GB以上を推奨)
ブラウザ	Windows Internet Explorer 7/8 Safari 4 FireFox 3 MacOSX Safari 4 FireFox 3
その他	Microsoft Excel(Unicode対応の場合は2002以上) またはAdobe Acrobat Reader 5 以上 ※帳票の形式により異なります。

### ■ 多様なカスタマイズ

- 収集、受入の業務フロー管理
- 館独自の帳票出力
- 会計システム、警備システム、GISシステム等、他のシステムとの連携
- バーコード、ICタグによる管理
- カラー・ユニバーサルデザインに配慮した画面デザイン
- 入館者統計・発券管理

I.B.MUSEUM  
収蔵品管理システム



早稲田システム開発株式会社

0120-149-223 月～金曜日 9:30～18:00

〒161-0033 東京都新宿区下落合3丁目21番1号 NK・フジビル7階  
TEL:03-6908-3500 FAX:03-5983-0901



2010

Concept & Features





# 館内の情報を チカラにする、という思想。

情報管理業務そのものを支援し、そのデータを活用するための機能を強化。

収蔵品は、それにまつわる情報が添えられて、初めて価値が伝わるもの。だとすれば、情報開示は、博物館にとって社会貢献姿勢を示す上での入り口とも言えます。しかし、館内に溢れる情報は、資料の属性を記録する「目録的な情報」から、これまでの管理の足跡を記録を蓄積する「カルテ的な情報」まで、極めて多岐にわたります。整理するだけでも手いっぱい、使いこなすまでには至らない館も多いのが実情です。

I.B.MUSEUMは、20年近くにわたり、博物館の情報整備をサポートしてきました。この間、250館以上に導入され、延べ1,000人を超える現場学芸員の要望に応える機能を提供してきましたが、最近では「データを管理するだけでなく、使いこなすための支援機能が欲しい」という声が非常に増えています。そこで、「情報を館のチカラに変える」という発想のもと、支援・活用機能の強化を図りました。

- 資料自体に関する情報
  - 資料識別属性の情報
  - 資料現況情報
  - 制作者・寄贈者情報
  - 物理的属性に関する情報
  - 資料構成に関する情報
  - 権利に関する情報
- 資料の管理に伴う情報
  - 受入収集に関する情報
  - 貸出・移動・処分に関する情報
  - 修復に関する情報
  - 評価に関する情報
  - 調査に関する情報
  - 保存に関する情報

「資料カード」を中心に蓄積した館内データを効率的に管理し、効果的に活用する。それが、機能強化のテーマでした。

## I.B.MUSEUM 主な業務支援・情報活用機能

**入力・データ登録** 個人のPCスキルに頼ることなく、継続的にデータを更新し続けられる環境を確保する。

### 文字情報の登録支援

- タイピングを極力減らすための入力アシスト機能を多数用意。
- 文字数制限を解消しつつ、自由に追加できる項目体系を実現。
- 大量の情報を一気に流し込める一括登録機能を装備。

### 画像情報の登録支援

- ファイルをクリックするだけで画像を登録できる簡単操作。
- 登録枚数は無制限で、部分写真や組作品にも対応することが可能。
- サムネイル自動生成機能、マスタ画像の自動バックアップ機能を搭載。

**出力・情報公開** DBに登録した収蔵品情報を、手間をかけることなく市民と共有する体制を築く。

### カード/ファイル出力支援

- 作成した資料カードをそのままプリントアウトすることが可能。
- 検索結果一覧をMicrosoft Excel形式のファイルに出力。
- さまざまな帳票のスタイルに応じたカスタマイズが可能。

### 情報公開・活用支援

- インターネットWebサイトや来館者向け端末での公開に対応。
- データのアップロードは、公開したい資料をそのまま指定するだけで、開示用データを別途作成する必要がなく、公開・非公開の選別も可能。

**情報検索** 日常業務を細かくスピードアップすることで、業務の流れ全体を円滑化する。

### 基本検索機能

- 全文検索のほか、条件に応じた多様な検索方法を用意。
- 絞り込みや追加検索も容易。
- 検索結果は文字/画像/文字画像の一覧形式での表示に対応。

### 検索支援機能

- 検索条件をそのまま保存し、次回以降は素早い再検索が可能。
- 検索結果リストの保存も可能。
- 検索結果の表示項目は、ユーザごとに独立して設定することが可能。

**情報連携管理** 収蔵品情報だけでなく、関連するデータやナレッジまで、「館のチカラ」を統合的に管理する。

### 履歴情報管理

- 出品・修復・所蔵歴、参考文献なども管理。
- 貸出管理の処理情報を出品歴と連携可能。

### 作家・名簿管理

- 人物情報と資料情報を統合的に管理。
- 寄託者や親密館の住所録への応用も可能。

### 関連ファイル管理

- システム登録街の資料や人物に関係するデータ(ファイル)を関連付ける一元管理が可能。